

2016年度第2四半期決算説明会



2016年10月28日

---

# 1. 2016年度第2四半期決算実績概要

---

# 2016年度第2四半期実績(2016.4.1 - 2016.9.30) <対前年同期実績>

## ポイント 減収減益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

<b>売上高</b>	▲1,937	-	都市ガス	(▲1,622:原料費調整に伴う単価減等▲1,638、数量増+6)
		-	エネルギー関連	(▲454:器具▲160(ガスター連結除外影響等)、エンジニアリングソリューション▲139(工事量減等) LNG販売▲130(原油価格下落による販売単価減))
<b>営業費用</b>	+1,198	+	都市ガス原材料費等	(+1,236:フレーム影響等による単価減+1,238、数量増▲2)
<b>営業利益</b>	▲738	-	都市ガス	(▲586:ガス粗利▲395(うちスライド差▲377)、固定費増▲202)
		-	エネルギー関連	(▲76:LNG販売▲42(うちスライド差▲42)、器具▲27)
		-	電力	(▲48:小売販売経費、減価償却費増)
<b>特別損益</b>	+55	+	投資有価証券売却益	+29 (当期29←前期0)、
			投資有価証券評価損	+26 (当期0←前期▲26)

(単位: 億円)

	2016年度2Q	2015年度2Q	増減	%	前回見通し(7/29)	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	7,210	7,184	+26	+0.4%	7,133	+78	+1.1%
電力販売量(百万kWh)	6,172	4,957	+1,215	+24.5%	6,196	▲24	▲0.4%
売上高	7,077	9,014	▲1,937	▲21.5%	7,090	▲13	▲0.2%
営業費用	6,715	7,913	▲1,198	▲15.1%	6,860	▲145	▲2.1%
営業利益	362	1,100	▲738	▲67.1%	230	+132	+57.4%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	370	1,108	▲738	▲66.5%	238	+132	+55.9%
経常利益…①	343	1,070	▲727	▲67.9%	200	+143	+71.9%
特別損益	29	▲26	+55	-	29	0	-
親会社株主に帰属する当期純利益	264	806	▲542	▲67.1%	150	+114	+76.6%

気温影響…②	▲49	▲50	+1	—	▲49	0	—
スライドタイムラグ(都市ガス+LNG販売)…③	88	507	▲419	—	28	+60	—
年金数理差異償却額…④	▲120	▲11	▲109	—	▲120	0	—
補正経常利益①-(②+③+④)	424	624	▲200	▲32.1%	341	+83	24.3%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
16年度2Q	105.25	43.75	21.5
15年度2Q	121.87<▲16.62>	58.84<▲15.09>	21.4<+0.1>
前回見通し(7/29)	106.58(▲1.33)	43.05(+0.70)	21.4(+0.1)

年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産 (億円)
16年度2Q累計	2.28%	2,840

期待運用収益率:2%

<>内は対前年同期増減、( )内は対前回見通し増減

# 2016年度2Q実績 連結ガス販売量

16年度2Q実績 (対前年同期実績)

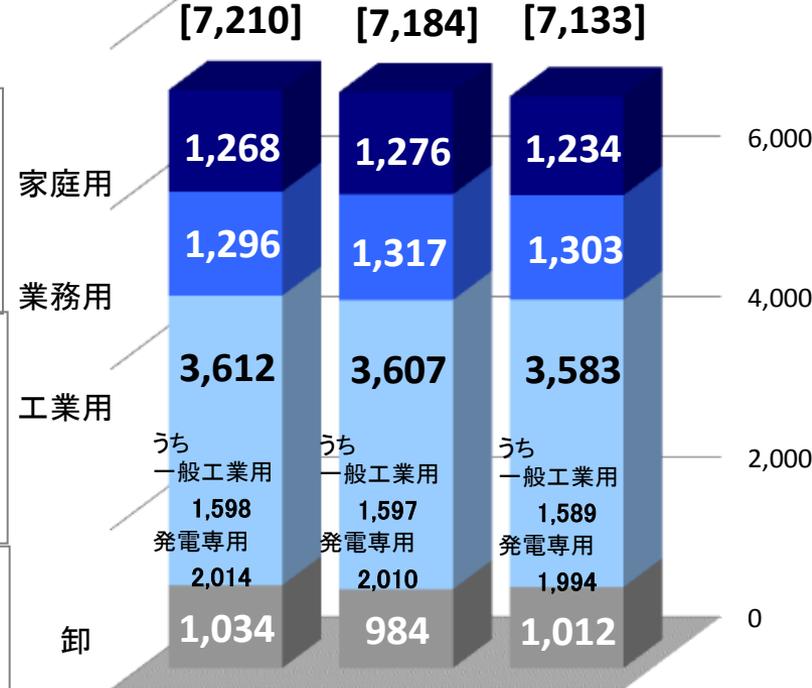
**+26百万m<sup>3</sup> (+0.4%)の増加**  
 [うち気温影響 +4百万m<sup>3</sup>, +0.0%の増加]

16年度2Q実績 (対前回見通し(7/29))

**+78百万m<sup>3</sup> (+1.1%)の増加**  
 [うち気温影響 +1百万m<sup>3</sup>, +0.0%の増加]

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)  
8,000



16年度2Q実績 15年度2Q実績 前回見通し(7/29)

(万件)

お客さま件数(万件)

上段:実績 下段:増減

16年度2Q実績	15年度2Q実績	前回見通し
1,144.8	1,131.5	1,144.7
	+13.3(+1.2%)	+0.1 (0.0%)

	16年度2Q実績	15年度2Q実績	前回見通し
LNG液販売量(千t)	515	490	514
		(+25)	(+1)
平均気温(°C)	21.5	21.4	21.4
		(+0.1)	(+0.1)

■ **家庭用** ▲8百万m<sup>3</sup> (▲0.6%)

- 気温要因 0百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +8百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +20百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲36百万m<sup>3</sup>

■ **業務用** ▲21百万m<sup>3</sup> (▲1.6%)

- 気温要因 +6百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +3百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +8百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲38百万m<sup>3</sup>

■ **工業用** +5百万m<sup>3</sup> (+0.1%)

- 一般工業用: +1百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +4百万m<sup>3</sup>

■ **卸** +50百万m<sup>3</sup> (+5.1%)

- 気温要因 ▲2百万m<sup>3</sup>
  - その他 +52百万m<sup>3</sup>
- 卸供給事業者需要増等

■ **家庭用** +34百万m<sup>3</sup> (+2.8%)

- 気温要因 0百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 0百万m<sup>3</sup>
- その他 +34百万m<sup>3</sup>

■ **業務用** ▲7百万m<sup>3</sup> (▲0.5%)

- 気温要因 +1百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 0百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +4百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲12百万m<sup>3</sup>

■ **工業用** +29百万m<sup>3</sup> (+0.8%)

- 一般工業用: +9百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: +20百万m<sup>3</sup>

■ **卸** +22百万m<sup>3</sup> (+2.2%)

- 気温要因 0百万m<sup>3</sup>
  - その他 +22百万m<sup>3</sup>
- 卸供給事業者需要増等

## ■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	16年度2Q実績	15年度2Q実績	増減	前回見通し(7/29)	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	7,210	7,184	+26	7,133	+78
			+0.4%		+1.1%
トーリングによる ガス自家使用量	989	775	+214	980	+9
			+27.6%		+0.9%
LNG販売量(m3換算)	643	613	+30	643	0
			+4.9%		0.1%
合計	8,842	8,572	+270	8,756	+86
			+3.2%		+1.0%

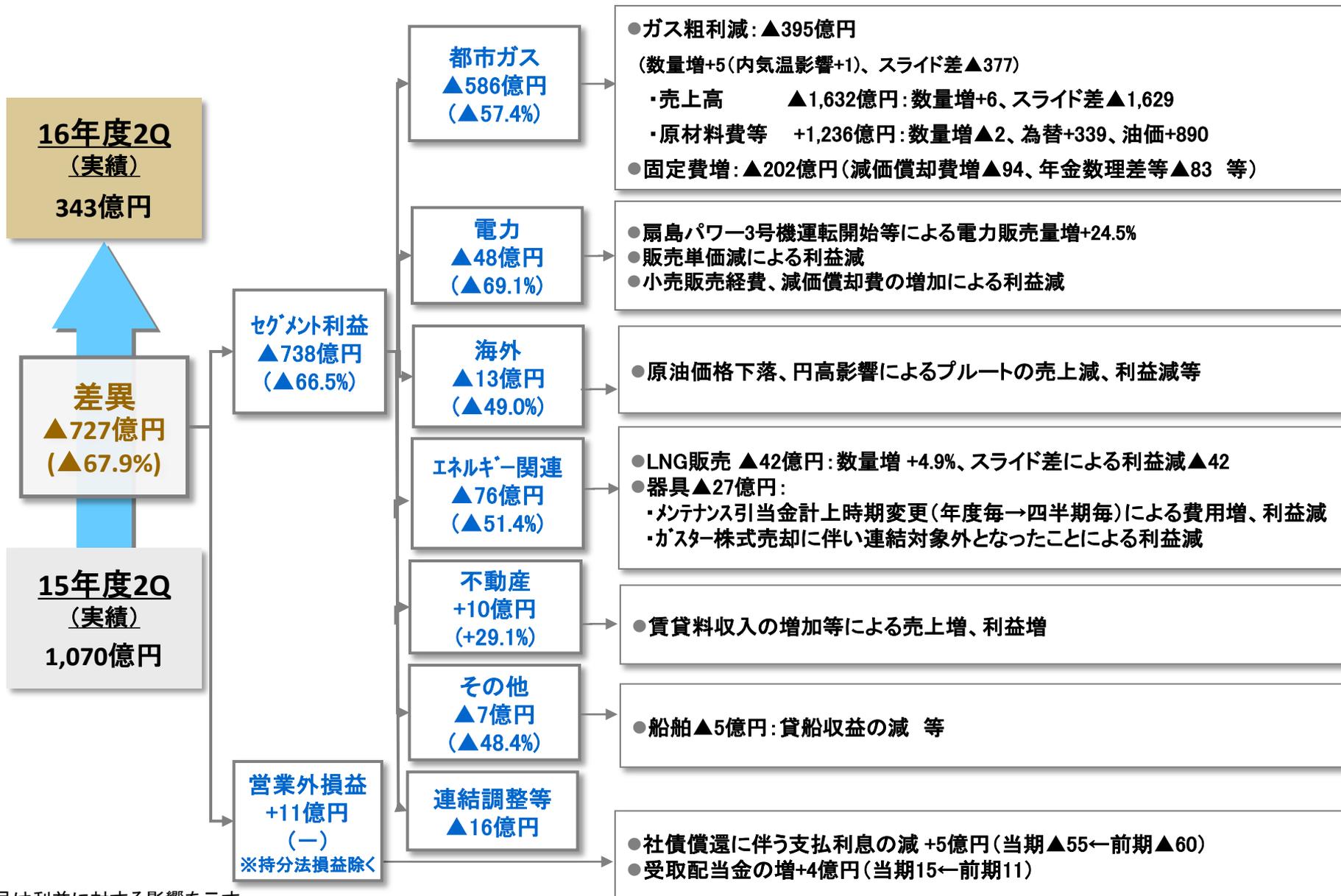
# 2016年度2Q実績 セグメント別売上高・セグメント利益<対前年同期実績>

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
	2016年度2Q	2015年度2Q	増減	%	2016年度2Q	2015年度2Q	増減	%
都市ガス	4,622	6,244	▲1,622	▲26.0	435	1,021	▲586	▲57.4
電力	649	617	32	5.3	21	69	▲48	▲69.1
海外	130	138	▲8	▲5.9	14	27	▲13	▲49.0
エネルギー関連	2,059	2,513	▲454	▲18.1	71	147	▲76	▲51.4
(エンジニアリングソリューション)	490	629	▲139	▲22.0	17	21	▲4	▲22.0
(LNG販売)	458	588	▲130	▲22.1	45	87	▲42	▲47.8
不動産	202	192	10	4.9	43	33	10	29.1
その他	389	353	36	10.3	7	14	▲7	▲48.4
調整額	▲975	▲1,044	69	—	▲222	▲206	▲16	—
セグメント合計	7,077	9,014	▲1,937	▲21.5	370	1,108	▲738	▲66.5

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。

# 2016年度2Q実績 経常利益分析 <対前年同期実績>



※符号は利益に対する影響を示す。

---

## 2. 2016年度 通期見通し

---

# 2016年度見通し(2016.4.1 - 2017.3.31) <対前回見通し(7月29日発表)>

## ポイント: 増収増益

(+/- は利益に対する影響を示す, 億円)

- ・経済フレームは、上期の確定値を反映し、下期は前回見通し時のまま為替105.0円/\$、原油価格\$45/bblとしている。
- ・ガス販売量は、2Qの対前回見通し増加分を反映し、3Q以降は前回見通しを踏襲。

売上高	+50	+	都市ガス	(+53:家庭用・工業用の販売量増等)
		+	電力	(+53:売上単価増等)
営業費用	+30	-	エネルギー関連	(▲69:エンジニアリングソリューション分野の販売量・工事量減等)
営業利益	+80	+	連結調整	(減価償却費の減等+30)
		+	都市ガス	(+36:販売量増等)
		+	電力	(+9:売上増・燃料費減による粗利増)

(単位: 億円)

	今回見通し	前回見通し(7/29)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,634	15,556	+78	+0.5%	15,436	+198	+1.3%
電力販売量(百万kWh)	13,007	13,026	▲19	▲0.1%	10,959	+2,048	+18.7%
売上高	15,960	15,910	+50	+0.3%	18,846	▲2,886	▲15.3%
営業費用	15,400	15,430	▲30	▲0.2%	16,926	▲1,526	▲9.0%
営業利益	560	480	+80	+16.7%	1,920	▲1,360	▲70.8%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	579	496	+83	+16.7%	1,941	▲1,362	▲70.2%
経常利益...①	480	400	+80	+20.0%	1,888	▲1,408	▲74.6%
特別損益	70	70	0	0.0%	▲330	+400	—
親会社株主に帰属する当期純利益	410	350	+60	+17.1%	1,119	▲709	▲63.4%

気温影響...②	▲49	▲49	0	—	▲173	+124	—
スライドタイムラグ(都市ガス+LNG販売)...③	▲61	▲74	+13	—	803	▲864	—
年金数理差異償却額...④	▲241	▲241	0	—	▲23	▲218	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	831	764	+67	+8.8%	1,281	▲450	▲35.1%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	105.13	44.38	16.1
前回見通し(7/29)	105.79<▲0.66>	44.02<+0.36>	16.1<0.0>
前年度実績	120.17(▲15.04)	48.73(▲4.35)	16.6(▲0.5)

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
		年金分	一時金分	
15年度	2.92%	0.236%	0.000%	2,810
14年度	5.57%	0.829%	0.358%	2,810

<>内は対前回見通し増減、()内は対前年度実績増減

# 2016年度見通し 連結ガス販売量

## 今回見通し(対前回見通し(7/29))

**+78百万m<sup>3</sup> (+0.5%)の増加**  
 [うち気温影響+1百万m<sup>3</sup>, +0.0%の増加]

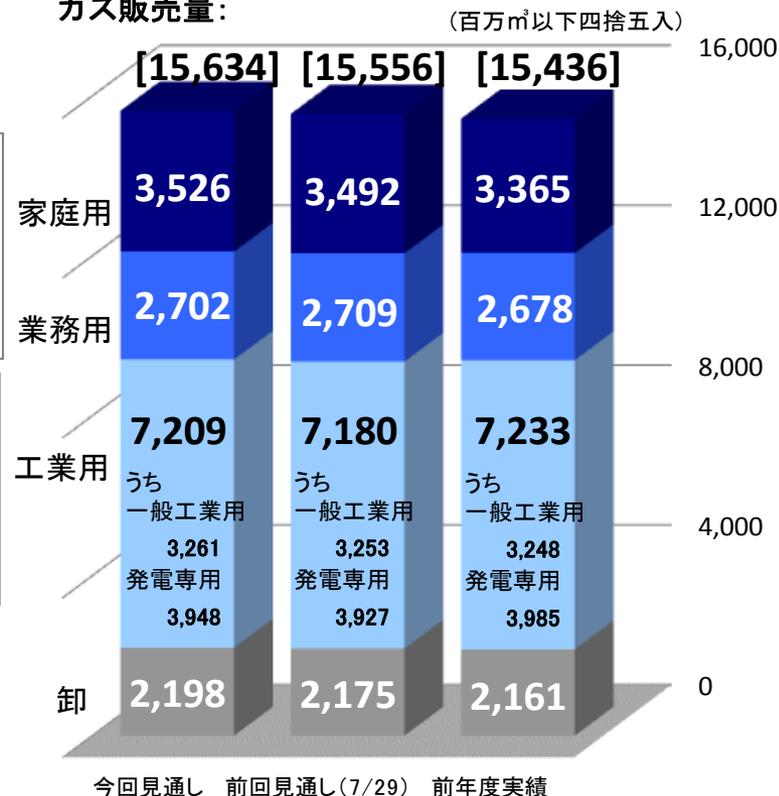
<b>■ 家庭用</b> +34百万m <sup>3</sup> (+1.0%) ● 気温要因 0百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 0百万m <sup>3</sup> ● その他 +34百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲7百万m <sup>3</sup> (▲0.3%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +4百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲12百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +29百万m <sup>3</sup> (+0.4%) ● 一般工業用: +8百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +21百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +23百万m <sup>3</sup> (+1.1%) ● 気温要因 0百万m <sup>3</sup> ● その他 +23百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

## 今回見通し(対前年度実績)

**+198百万m<sup>3</sup> (+1.3%)の増加**  
 [うち気温影響+227百万m<sup>3</sup>, +1.5%の増加]

<b>■ 家庭用</b> +161百万m <sup>3</sup> (+4.8%) ● 気温要因 +152百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 +3百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +51百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲45百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> +24百万m <sup>3</sup> (+0.9%) ● 気温要因 +55百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲2百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +27百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲56百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> ▲24百万m <sup>3</sup> (▲0.3%) ● 一般工業用: +13百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: ▲37百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +37百万m <sup>3</sup> (+1.7%) ● 気温要因 +20百万m <sup>3</sup> ● その他 +17百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

## ガス販売量:



## お客さま件数(万件)

	上段: 見通し・実績		下段: 増減
	今回見通し	前回見通し	前年度
お客さま件数(万件)	1,153.7	1,153.7	1,139.8
		0.0(0.0%)	+13.9 (+1.2%)
	今回見通し	前回見通し	前年度
LNG液販売量(千t)	1,054	1,059	1,147
		(▲5)	(▲93)
平均気温(°C)	16.1	16.1	16.6
		(0.0)	(▲0.5)

●ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	今回見通し	前回見通し (7/29)	増減	前年度実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,634	15,556	+78	15,436	+198
			+0.5%		+1.3%
トーリングによる ガス自家使用量	2,062	2,053	+9	1,717	+345
			+0.4%		+20.1%
LNG販売量(m3換算)	1,318	1,324	▲6	1,434	▲116
			▲0.5%		▲8.1%
合計	19,014	18,933	+81	18,587	+427
			+0.4%		+2.3%

# 2016年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益 <対前回見通し(7/29発表)>

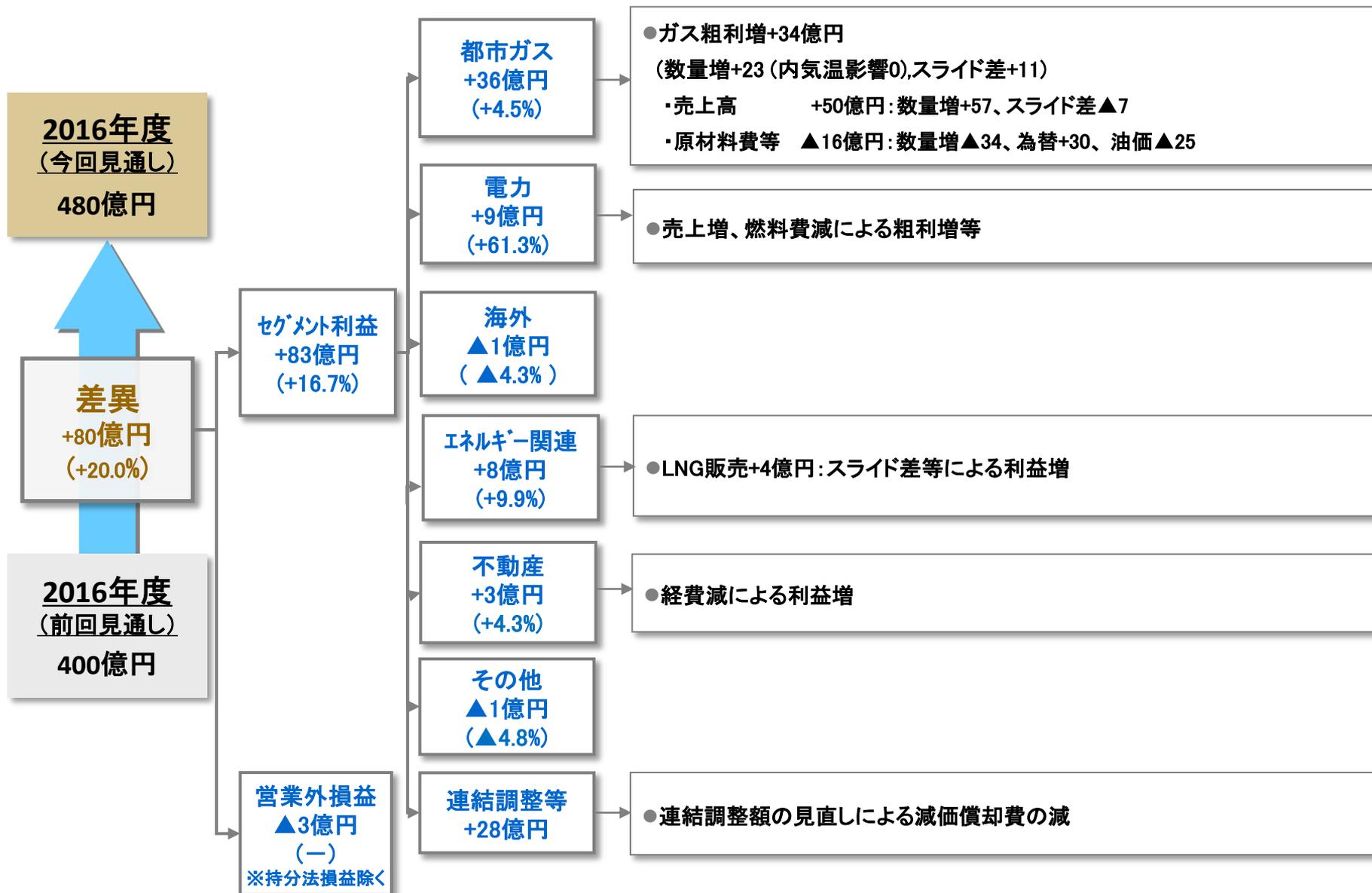
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	10,326	10,273	53	0.5	830	794	36	4.5
電力	1,441	1,388	53	3.8	24	15	9	61.3
海外	269	276	▲7	▲2.5	22	23	▲1	▲4.3
エネルギー関連	4,572	4,641	▲69	▲1.5	89	81	8	9.9
(エンジニアリングソリューション)	1,074	1,112	▲38	▲3.3	37	37	0	0.0
(LNG販売)	884	881	3	0.3	39	35	4	12.3
不動産	408	411	▲3	▲0.7	73	70	3	4.3
その他	881	864	17	2.0	20	21	▲1	▲4.8
調整額	▲1,937	▲1,943	6	—	▲480	▲508	28	—
セグメント合計	15,960	15,910	50	0.3	579	496	83	16.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。

# 2016年度見通し 経常利益分析

<対前回見通し(7/29発表)>



※符号は利益に対する影響を示す。

# 2016年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益 <対前年度実績>

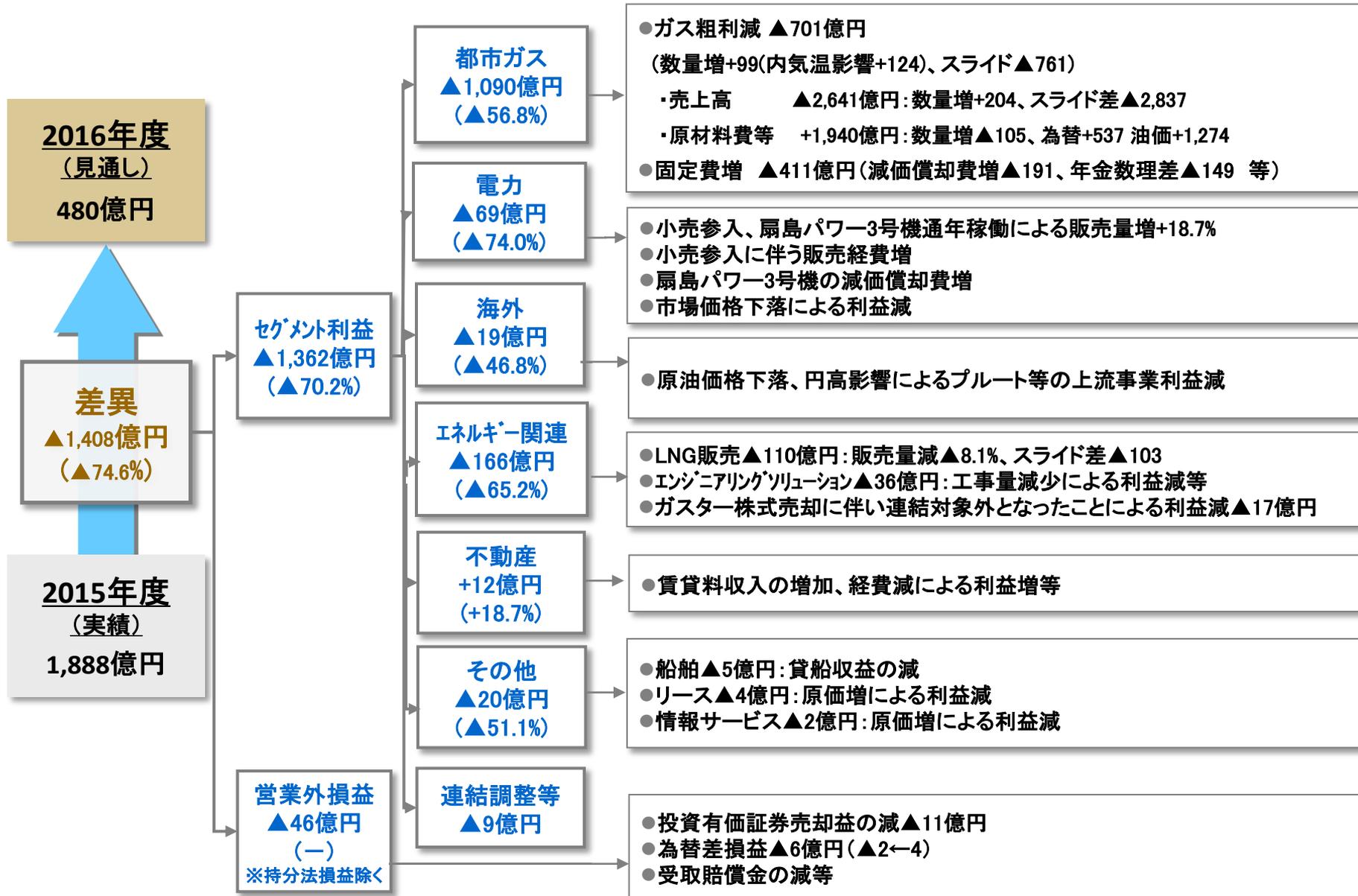
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	10,326	12,946	▲2,620	▲20.2	830	1,920	▲1,090	▲56.8
電力	1,441	1,248	193	15.4	24	93	▲69	▲74.0
海外	269	301	▲32	▲10.9	22	41	▲19	▲46.8
エネルギー関連	4,572	5,504	▲932	▲16.9	89	255	▲166	▲65.2
(エンジニアリングソリューション)	1,074	1,370	▲296	▲21.6	37	73	▲36	▲49.3
(LNG販売)	884	1,243	▲359	▲28.9	39	149	▲110	▲73.6
不動産	408	393	15	3.7	73	61	12	18.7
その他	881	802	79	9.8	20	40	▲20	▲51.1
調整額	▲1,937	▲2,351	414	—	▲480	▲471	▲9	—
セグメント合計	15,960	18,846	▲2,886	▲15.3	579	1,941	▲1,362	▲70.2

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。

# 2016年度見通し 経常利益分析

〈対前年度実績〉



※符号は利益に対する影響を示す。

# 主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2016年度 見通し	2015年度 実績	2014年度 実績
総資産 (a)	21,850	22,515	22,576
自己資本 (b)	10,110	11,002	10,695
自己資本比率 (b)/(a)	46.3%	48.9%	47.4%
有利子負債 (c)	7,730	7,157	7,307
D/E レシオ (c)/(b)	0.76	0.65	0.68
親会社株主に帰属する当期純利益 (d)	410	1,119	958
減価償却 (e)	1,630	1,451	1,418
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,040	2,571	2,376
設備投資 (Capex)	2,400	2,320	2,245
ROA: (d) / (a)	1.8%	5.0%	4.3%
ROE: (d) / (b)	3.9%	10.3%	9.2%
TEP	▲168	676	434
WACC	3.4%	3.4%	3.6%
総分配性向	60%程度	60.1%	60.8%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 ○株主資本 = 時価総額  
 ○WACC算定諸元(2016年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 実績金利1.12%(税引後)  
 ・株主資本コスト率  
   ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.44%  
   ・マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75

---

### 3. 参考資料

---

## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲1	▲11	▲12
	第4四半期	—	▲3	▲3
	下期	▲1	▲14	▲15

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲6	+6	0
	第4四半期	—	▲8	▲8
	下期	▲6	▲2	▲8



### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531